

平成30年度補正予算に関する質疑

一時的保育の拡充

Q 私立小川保育園で可能になった理由は。

A 保護者からの要望があり、相談を重ね実施となりました。実施保育園と同様に1時間300円、1日1500円、月・水の8時半〜16時で、1日3人の対応となります。

和紙すき体験

Q 楮の購入費（43万2000円）は、和紙体験学習センターで利用者何人分となるのか。

A 700人分を想定しています。購入先は小川和紙工業組合から町内産のものとなります。

不育症制度

Q 詳細と周知方法は。

A 平成30年4月からの実施で県が呼びかけており、県全体で50人を見込んでいます。当町でも制度化し悩みを抱える方への

一助を目指しました。大変デリケートな内容なので、必要な方に直接伝わるように産婦人科内や役場にポスターを掲示します。

図書館開館日数

Q 6月は5日間のみだったが、管理運営費の減額は。

A 6月4日〜28日の間、コンピュータシステムの入れ替えを実施していました。その間、職員は蔵書の点検を実施していたので、通常の業務日数と変わりはなく減額はしていません。

臨時財政対策債

Q 本来なら地方交付税として交付されるべき金額の一部について地方が借金（臨時財政対策債の発行）することによって補てんし、その返すべき相当額を後年度の普通交付税の基準財政需要額②に算入するという仕組みだが、町はどのような考えのもと増額をしたのか。

り立てるためにも早期の契約が必要と思っています。また、賃借は6カ月前に通告が必要です。

Q 町民会館と公民館の複合化になると、安価な公民館の利用が増えて、町民会館の利用が減るのでは。

A 公民館は社会教育法のもとの使用となり、稼働率を上げることが目的にもなっています。が、宴会など飲食が伴うものはできないので、利便性が向上するものと考えます。

旧下里分校の無償貸付

Q 契約は平成31年3月までだが、なぜ今なのか。

A 次年度の事業計画をいつか

Q 契約先のNPO法人霜里学校にさくら祭り等の実績があったとしても、他団体を含め公募すべきでは。

A 5年前、平成26年度は公募しましたが、結果は霜里学校1団体だけでした。5年間の実績で地域との連携・協力ができていることなどから、霜里学校に貸しつけるとしました。

旧下里分校の用務員棟は、地方創生拠点整備交付金を活用し改修され、4月から地域のPR拠点としてスタートし期待がもたれています。一方、今後は老朽化が進んでいる校舎棟修理の資金確保も大切になってきます。



A 毎年基準財政需要額に算入される元利償還金の額については、国が定めた全国一律の償還モデルに基づいて算定されることになっていきます。そこで、発行可能な限度額が示されたこと

条例その他に関する質疑

公民館条例

Q 町民会館は今まで活動ができていた利用者が、公民館と併用になると制限される場合があるのではないかと。

A 1・2階が相互に利用でき、現在の利用者に従来どおり使用していただけるように仕組みを規則の中で整備して、支障を来すことがないようにしていきます。



財政負担を考え大ホールを切り離しての管理棟改修工事。利用者が安心して使える施設管理が最重要です。

議員提出議案

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書

このゴルフ場利用税は、ゴルフ場利用者から徴収され、県に3割、所在自治体に7割が交付されます。平成29年度の実績は4500万円でした。貴重な財源であるため、現行の維持を求めて意見書を提出しました。

賛否が分かれた議案・請願をお知らせします

ほか17議案は原案のとおり認定・可決しました

議員名	審議結果	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	山口勝士	高橋さゆり	松葉幸雄	金子美登	島崎隆夫	戸口勝	大戸久一	柴崎久勝	宮澤幹雄	根岸成美	松本修三
小川町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老朽化した東海第二原発の運転期間を延長させないことを国に求める請願	不採択	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します